

故事成語 4

故事成語の正しい意味がわかる

月 日
名 前

■ 次の故事成語の意味としてあてはまるほうに○をかきましよう。

(1)と(3)は、特に意味をまちがえやすいので、気をつけましよう。

(1) 他山の石

他人のよくない言動を見習って、自分の行いをよくするた
めの参考になること。

他人のよい言動を見習って、自分の行いをよくする
こと。

他山とは、よその山のこと。よその山から出た質の悪い石でも、寶石をみがいて美しくするのに役立つとい
うことからできた言葉。

(2) 推敲

詩や文章のまちがいを見つけて、最初から書き直す
えて手直しすること。

詩や文章のまちがいを見つけて、最初から書き直す
こと。

ある詩人が、詩の一節に使う言葉として「推す」がいいか「敲く」がいいか迷って考えたという話からでき
た言葉。

(3) 破天荒

だいたんな行動をする様子。

今までだれもしなかったようなことをすること。

役人の試験の合格者を出したことが一度もない地域を「天荒(全く開けない土地)」と呼んだ。しかし、つい
に合格者が出たので、人々が「天荒を破った」と言ったことからできた言葉。

(4) 知音

友人から届いた手紙。

おたがいのことをよく理解している親友。

琴の名人とその親友がいた。親友は、名人が琴をひく音を聞いて、その心情をいつも言い当てたという話が
らてきた言葉。

(5) 覆水盆に返らず

一度始まったことを、とちゅうでやめるのは難しい
ということ。

一度してしまったことは、取り返しがつかないとい
うこと。

働かない夫をいやがって別れた妻がいた。しかし、夫が出世すると、「もう一度妻にしてほしい」と言ってきた。そこで夫が盆の水をこぼして「この水を元通りにできたら望み通りにしよう」と答えたという話からで
きた言葉。

(6) 虎の威を借る狐

権力がある人の力を借りていばる人。

トラにおそれそれになつたキツネが、「神様が私を全ての動物の王様にしたから私を食べてはいけない。う
そだと思つたら、私のあとについてきなさい」と言った。トラがその通りにすると、確かに動物たちがみん
なにげ出したが、それはキツネの後ろにいるトラをおそれてにげただけだという話からできた言葉。

